

平成18年

1 月

No. 507



広 報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp>

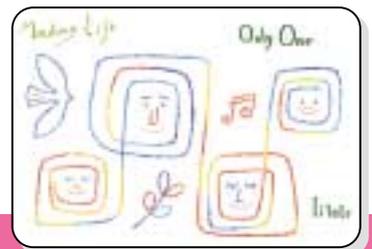


よいしょ!
よいしょ!

おいしいお餅できたかな

12/1 草野幼稚園 12/2 飯槌幼稚園

草野・飯槌両幼稚園で「もちつき会」が行われ、園児たちが臼と杵を使い昔ながらの手法で楽しく餅をつきました。(関連記事18ページ)



大いなる田舎 まていうイフ・いいたて

新春のごあいさつ



飯館村長
菅野 典雄

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様には、ご家族お揃いで健やかに新年を迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、これからも「飯館村」のままで歩んでいくための「自立プラン」づくりを注いだ1年でありました。その間、飯館村消防団が全国表彰されたのをはじめ、飯桶小学校が公立学校優良施設として文教施設協会会長賞を受賞、そして村は過疎地域自立活性化優良事例表彰で総務大臣賞を再度いただき、さらに新年に当たっての1月17日には、笠石住宅団地が県建築文化賞特別賞を受賞することになりました。このように、飯館村が色々な分野で評価された年でもありました。

また、健康増進交流施設「いいたてイオンの森 あい・らぶ・湯」がオープン出来ましたし、念願の石ボロ坂トンネルも開通しました。駅伝も村の部3連覇を果たしたり、多くの村民の方が優勝や表彰されるなど、明るい話題の多かった平成17年でした。

そのような中、一度とあってはならない事が起きたこと、農作物の収穫が豊作とはいかず、農家の皆様の

1年間の努力が思うように報われなかったことが残念でなりません。

さて、今年飯館村が誕生して50年という節目の年でありました。まさに、一世紀の折り返しの年であり、新たなスタートの年といつてよいであらうでしょう。したがって、昨年多くの方の声を聞かせていただきながらつくられた「自立プラン」を、「いいたて立村50年・新たな出発プラン」としました。名称を変えることで、改めてしっかりと地に足をつけながら、小さくともキラリと光る「飯館村」づくりのスタートを切りたいとの強い意志を表したものです。「まていブランド」を戦略の武器として、農作物をはじめ多くの「飯館村らしさ」を販売・発信していくつもりです。

村の基礎は人口でありますので、少子化対策についても保育所の拡充や新たな支援などを考えているところです。さらに、未来へ向かっての人づくりといつことでも子供たちにも熱い思いをかけてまいりたいと考えています。

総じて「小さな役場」に努め、村民へは「新たな時代のサービス」について考えていただきながら、行政としての最大の努力を払っていくつもりです。

多くの村民の方が、わがふるさとを思う気持ちを「協働」という形で表していただければ、必ずや素晴らしい村になると確信するものです。

「飯館村でよかった」と実感していただける「村づくり」に、私も首長として努力と情熱を全力で傾けていくことを新年に当たりお約束させていただきます。

今年1年、皆様の「ご家庭に幸せが訪れ、健康で過ごされますよう心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

新春のごあいさつ



飯館村議会議長
北原 昇

新年明けましておめでとうございます。皆様には、「ご家族お揃いにて輝かしい新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

これは、皆様も私も同じであると思っています。新年といつのは気持ち新しくなり、「今年ことは」と、新しい構想や希望がおのずと沸いてきます。「今年是非ともこつしたい」とか、「こつありたい」と思っています。今年も、我が飯館村が最良の年でありますよう念ずるものです。

昨年は幸いにも、飯館村においては度々の台風襲来や大地震の発生にもかかわらず、大きな被害もなく、好天に恵まれた年でした。

また、村の第5次総合振興計画が始まりました。この計画の基本理念「まていライフ」はつまり、まていな暮らしで豊かな社会を築いてつづけるものであり、今後皆様の生活や村づくりに活かされていくものと期待されています。

あります。

さらに一昨年、飯館村は自立の道を選択しました。それ以来、村当局も自立計画の作成に取り組んでまいりましたが、議会でもの検討もなされ、今後まもなく皆様に示されようとしているこの自立計画と第5次総合振興計画が、いかに村民の豊かさを実感出来るような計画となるのか、今後更なる検討が必要と考えます。

今年、飯館村の自立2年目の年です。この危機的な財政の中で、三位一体の改革は財政力の弱い小規模自治体には何の恩恵もありません。ますます財政力に厳しさを一層増すのみです。

自立計画が具体化するにつれ、今後は村民の負担及び我慢が避けては通れないと思います。これらを克服するには、村民の生産基盤の向上つまり商工業への支援や雇用の場の確保、農業については自主自立の村ならではの支援策の存続拡大が必要であると考えます。

また、高齢者が元気で暮らせる福祉施策及び小児化社会への対策、生涯学習の充実を図るよう努力いたします。さらには、主道路と生活道の整備促進を図るとともに、行財政改革の断行等健全な村づくりに努めてまいります。

以上のことを基本として、自立の村づくりの中で村民の生活と幸せを守るため、活発な議会活動を進めてまいります。

最後に、皆様の「健康とご多幸を」祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。